



働く先輩社員もホンネでトーク(2007年度男女共同
参画事業報告)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-07-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24729/00004909

2007年度 男女共同参画事業報告

『働く先輩社員もホンネでトーク』

(10月9日、於中百舌鳥キャンパス学術交流会館)

この事業は、当センターが、男女にかかわらずより良い働き方とワーク・ライフ・バランスの実現をめざして行なった、学生対象の就職セミナーである。

企画のきっかけは、大阪府生活文化部男女共同参画課が企業・大学等に呼びかけて組織している「おおさか男女共同参画促進プラットフォーム」において、2006年度にセンターが府大生に実施した府の受託事業『就労支援のための学生アンケート ―男女共同参画社会の実現のために―』（回収数889票）の結果を報告したことにある。アンケート結果によると、府立大学生は仕事にやりがいを求める意欲的な姿勢をもち、過半数が共働きを志向しており、府・国や企業に対して家庭と仕事の両立支援を求めていることが明らかとなった。しかし他方で、国や大阪府による重要な関連施策についてはほとんど知識をもっていないことも判明した。その結果報告に対して、プラットフォームの参加メンバーであるJCB人事課から、企業側も就職セミナーなどで同様の感触を得ていること、そのため通常のセミナーではなく、特に「働き方の多様性」をテーマにした就職イベントを行なってみたいとの話があった。そこで、JCBが参加している「ダイバーシティ研究会」の他の企業に参加を呼びかけ、その結果、JCB、KUMON、UCCと阪急百貨店の人事部がかかわって本学での就職セミナーを行なうことになったのである。


この事業の準備段階においては、学生による参画も重視された。そこで、センターが提供している「ジェンダー論演習」や研究員・運営委員の担当授業で呼びかけ、学生有志が協力してくれることになった。学生たちは企業とセンターの会議に参加して意見を述べ、学内でのチラシ配布やポスター貼り、当日の受付等を行なってくれた。府大生が参加するミクシィでの呼びかけも、学生有志が行なってくれた。図1は、学生の一人が作成して

くれたチラシである。また、この事業は学内で行なう就職関連イベントであるため、就職支援室にお願いし、立看板と就職支援室HPによる広報によって協力していただいた。結果として、チラシ・ポスターと立看板は多くの学生たちにとって有力な情報源となった。また、センター研究員・運営委員をはじめとして人間社会学部の教員の方々に、学生への広報をお願いした結果、ゼミも情報源として有効に活用された。センター研究員の方から紹介された「府大ナビ」にも情報をリンクしていただき、企業側はインターネット上でインターンシップの扱い等を行なって広報を積極的に展開した。企業側には、そのほかに、準備会議、当日配布資料の作成、ロールモデルの参加、学生への「お土産」、そして会場の準備から片付けまでを非常に積極的に推進していただいた。このように、大変多くの方々のご協力を得て実現した事業である。

さて、事業の内容は、最初に簡単に各社と各ロールモデルを紹介したあと、一人のロールモデルに10人前後の学生を1グループとするセミナー形式である。これを1回15分として3クール、1度目と2度目はロールモデルが席を移動し、3度目は学生が話したいモデルのテーブルに移動した。ロールモデルには、転職経験者、育児休業を取得した社員、中途採用で入社した経営責任者、若手や中堅の販売員等が、国籍も日本・中国・オーストラリアを交えて12名が参加した。学生の参加は、事前申し込み者と当日参加者を合わせて98名である。そのうち73%が大阪府立大学生で17%が他大学生（残りは未回答）、59%が3年生、54%が人間社会学部、女性が67%である。はじめは硬い表情だった学生たちがすぐに笑顔になり積極的に会話に加わるようになった変化が非常に印象的であった。

参加学生たちへの事後アンケートの一部を、図2～図4に示す。学生たちの、働くことに対する意欲は高く、このセミナーはおおむね満足をもって終わられたと言える。アンケートの自由記述欄には非常に多くの感想が書かれた。少人数で働き方について「ホンネ」が聞けて非常に良かったという感想が多かったほか、たとえば、「1年生から行なってほしい」、「毎日行なってほしい」、「福祉施設や理系企業、他の職種の企業、中小企業に関しても行なってほしい」など、多くの要望が寄せられている。来年度、

これらの要望に応えられるかどうか、今の段階では企業側の意向も含めて未定であるが、ワーク・ライフ・バランスが人々にとっても政策的にも重要となっている現在、大学の1機関として、センターが特にワーク・ライフ・バランスに重点をおいたセミナーを学生対象に行なうことは非常に有意義だと思われる。今後も、もし機会があれば取り組みたい課題である。



Which?

時短

多様化

ワークライフバランス

ダイバーシティマネジメント

ライフスタイル

柔軟雇用

家庭

次世代育成支援対策推進法

やりがい

**自分らしく
働きたい人
大歓迎!**

育児介護休業法

再就職

男女共同参画

趣味

雇用

聞こう! 話そう! 考えよう! "10年後も自分らしく働くこと"

～働く先輩社員もホンネでトーク～

就活をはじめる あなた!!

どんな働き方ができるか、
どんな仕事に向いているか、
いろいろ知りたい あなた!!
個性豊かな先輩社員と直に話せる
少人数の「ホンネトーク」をご用意しました。
貴重なチャンスです☆

～話してくれるのは、こんな人～
★転職2回でキャリアアップ・女性
★オーストラリア国籍育休パパ
★中堅ノリノリ ★若手販売 ★婦人服バイヤー
★上海出身営業マン ★育休明けママ
★中途採用から経営者・女性 などなど

10月9日(火)

16時30分から18時00分(受付16時15分～)

学術交流会館 多目的ホール(定員100名先着順)

当日受付もあり!! お気軽にどうぞ!!

事前のお申し込みは⇒ ioseigaku@gmail.com
氏名(フリガナ)、大学名、学部名
を書いてお申し込みください
3年生の方は <http://bunnabi.jp/2009> の
JCBの「インターンシップ情報」からも可

主催:「ホンネトークイベント実行委員会」

Presented by JCB・公文・UCC・阪急百貨店・府大女性学研究センター・学生有志
協力: 府大就職支援室・府大ナビ












図1 配布チラシの1バージョン(0917配布分)

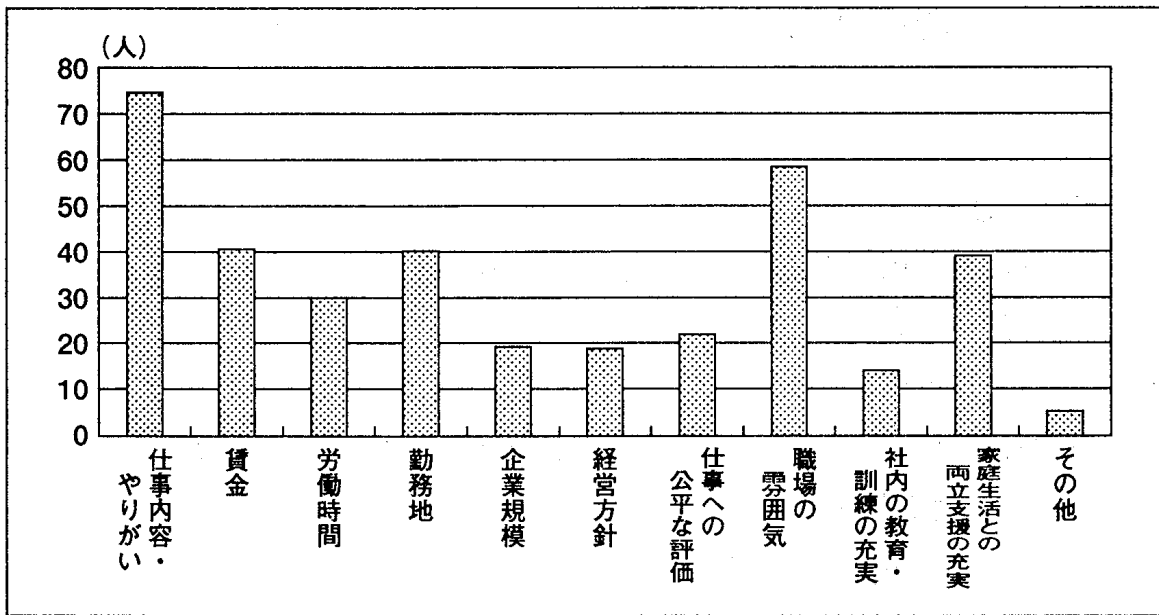


図2 企業を選ぶ際に重視したこと

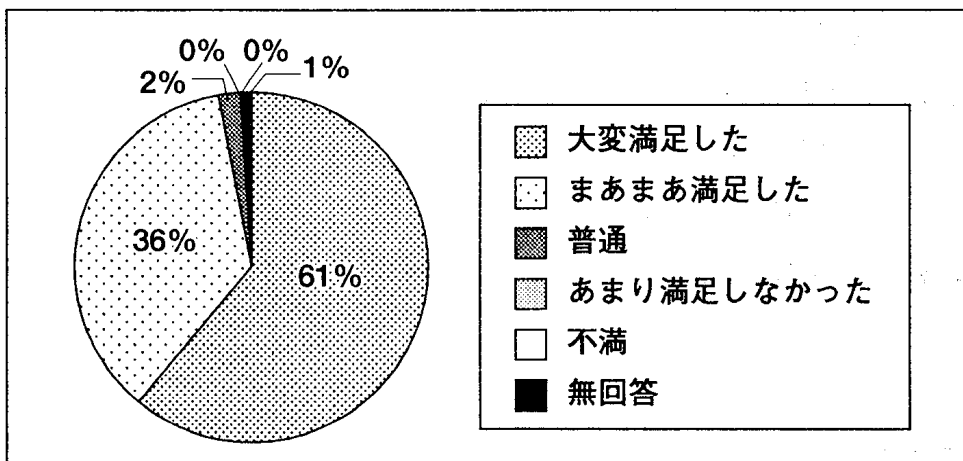


図3 先輩社員との「ホネトーク」はいかがでしたか？

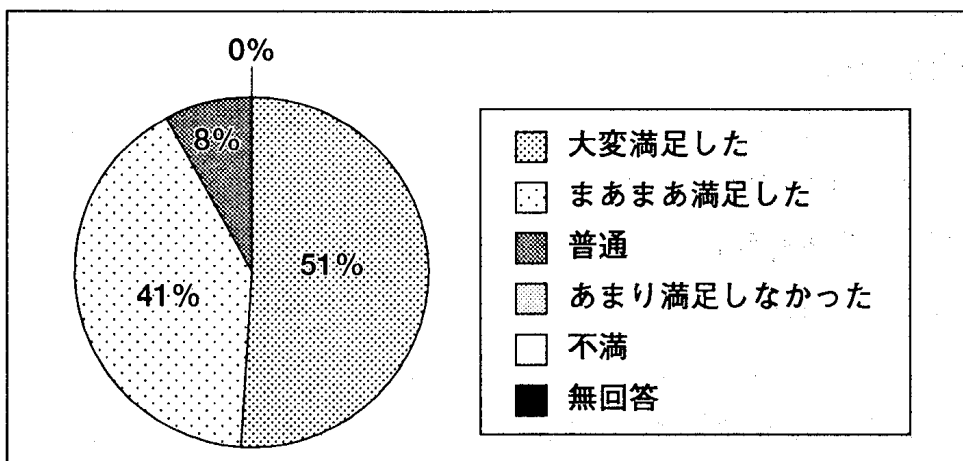


図4 イベント全体を通じての感想をお聞かせください